

たきおっ子

～一人一人が輝き、「笑顔」あふれる滝尾小～

御船町立滝尾小学校 学校だより
第2号 平成30年4月19日(木)
たきおっ子の生活信条：
「たのしく、きたえて、おおらかに」
学級数7、在籍児童数：59名
文責：(校長) 河地浩太郎

好天に恵まれた歓迎遠足！



先週の金曜日(13日)は、1年生の歓迎遠足でした。当日は、春の暖かな日差しが射す絶好の遠足日和となりました。2時間目の終了後、県の茶業研究所まで歩いて行きました。1年生は、6年生がしっかり手をひいてくれました。

現地に到着後は、児童会によるダンス(みんなでおどろうドラえもん)やゲーム(ウルトラポーズゲーム、たたいて集まれ、伝言ゲーム)をみんなで楽しみました。児童会の子ども達のリーダーシップもよく発揮できていました。

ゲームの後は、お楽しみのお弁当タイムです。みんなとてもおいしそうに食べてました。また、おやつもお互いに交換したりして、こちらもおいそうでした。私は、初めて研究所に行きましたが、新茶の緑や紅白のツツジの花がとてもきれいで、遠足にはうってつけの場所だと思いました。子どもたちにとって、笑顔あふれる心に残る遠足となりました。



「かみましき『命と防災』の日」

4月16日(月)は、「平成28熊本地震」の本震からちょうど2年目となり、上益城郡内の小中学校では、この日を上記のような防災の日として設定して全校児童で黙祷をしたり、防災に関連した取組を行いました。

本校では、NPO法人「さくらネット」を通して、愛知県名古屋市の防災センターの防災教育アドバイザーである、近藤ひろこ先生をお迎えして、「みんなで防災(ぼうさい)をやっていこう!」というテーマで、講話をしていただきました。

講話では、災害時に一番大事な事は、「命を守る」+「みんなといっしょに生きのびていく」ことであることや、地震の時には、正座スタイルで身を(特に頭を)守ること、さらには、だれも大人の人などがいないときは、「おちついて、考える、にげる」ことが大事であることなどを教えていただきました。

そして、楽しく防災について学ぶために、防災ソング「い・つ・も」「お・か・に」を手話をしながらみんなで歌ったりしました。震災のことは、月日が経つにつれて記憶がだんだん薄れていきがちですが、当時のことを今後もわすれず、防災の意識をもち続けたいものだと思いました。



今年もお世話になります！

滝尾小PTA活動

4月11日(水)に、本年度第1回目のPTA役員会が開かれ、事業計画や予算案、そして各部の活動について協議がなされました。詳細は、土曜日のPTA総会で提案等がなされると思います。PTA活動は、ほと



んどボランティア的な活動ですが、学校にはなくてはならないものです。役員の皆様には、いろいろ大変かと思いますが、一年間よろしく願います。

《オーストラリアから友だちがやってきました!》

今週、3年生にリオ君、5年生にジェイク君が4日間の体験入学ということで、本校にやってきました。もう何回も来ているということですから、たきおっ子になっています。

